



IBJ防除情報

(*は、Ishihara Bioscience Japan=石原バイオサイエンスの略)

第6号



困っているんだ～

いまどきの防除

(病虫害の発生予察と薬剤による防除対策)

●農水省は8月11日、向こう1か月の主要病虫害発生予報を発表しました。その中から主な作物を対象に、発生が「多い」と発表された病虫害とその地域及び防除農薬(当社の推奨農薬)を一表に纏めましたので推進のご参考にして下さい。 注) FL:フロアブル 水:水和剤 乳:乳剤 DF:ドライフロアブル 粒:粒剤

作物別	病虫害名	発生が「多い」地域	防除農薬(当社推奨農薬)	
水 稲	フタオビコヤガ	東北、南関東	MR. ジョーカー粉剤DL	
	斑点米カメムシ	東北、北陸、関東、東海、中国	MR. ジョーカー粉剤DL	
野 菜	ねぎ	関東	ウララDF, アタブロン乳, ガゼット粒, アドバンテージS粒	
	きゅうり	褐斑病	東北	ドーシャスFL
		炭疽病	四国	ドーシャスFL
		べと病	近畿	ランマンFL、ドーシャスFL
な す	タバコガ類	南関東	アタブロン乳、トアローフロアブルCT	
果 樹	なし	黒星病	北陸、北九州	フロンサイドSC
	ぶどう	べと病	北陸、近畿、九州	ランマンFL
茶	チャノココクモンハマキ	九州	アタブロン乳、テルスター水、テルスターFL トアロー水CT	
	チャノミドリヒメヨコバイ	東海	ウララDF、テルスター水、テルスターFL	
	チャノキイロアザミウマ	九州	ウララDF、テルスター水、テルスターFL	

*使用に当たっては、製品ラベルをよく読み、登録内容の確認を充分に行ってください。
*展着剤を使用する場合は「まくびか」をお奨めします。



新しい農薬です

IBJの新農薬

(適用拡大を含む)

● 本年7月1日以降7月末までの間に、登録された新農薬(適用拡大を含む)は、次の通りです。

登録日	薬剤名	登録内容(適用拡大を含む)のあらまし	
		対象作物	内 容
23.7.20	アカリタッチ乳剤(殺虫剤)	野菜類	「ハダニ類」の希釈倍数を「1,000～2,000倍」から「1,000～3,000倍」に変更
		いも類	「ハダニ類」の希釈倍数を「2,000倍」から「2,000～3,000倍」に変更

[お詫びと訂正]

前号(7月11日発行、第5号)において、下記の通り、一部誤りが有りましたので、お詫びして訂正させていただきます。

「いまどきの防除」

きゅうり(アブラムシ類、北関東)の項、防除農薬(当社推奨農薬)

誤:ウララ粒剤 → 正:ウララDF

防除に関するQ & A

なんで??

どうして??



Q. 最近、「チョウ目害虫」という言い方を耳にします。チョウ目とは何でしょうか。従来の「鱗翅目」とは、何処が違うのでしょうか。

A. チョウ目とは、昆虫類の分類群の一つで、結論から言うと、鱗翅目とは全く同じものです。「ガ目」とも呼ばれます。

近年、難しい漢字名を改め、より平易な呼び方にしようとの流れの中で、「目」の名が改称されました。他にも、アザミウマ等の総翅目がアザミウマ目に、バッタ・コオロギ等の直翅目がバッタ目に、カブトムシ・コガネムシ等の鞘翅目が甲虫目に、ハエ・アブ・カ等の双翅目がハエ目に、セミ・ヨコバイ(同翅目)・カメムシ(異翅目)等の半翅(上)目がカメムシ目(セミ・ヨコバイをヨコバイ目(又はセミ目)とする場合も)に・・・と、それぞれ改称されています。一方で、呼称を変える必要は無いとする研究者も有り、現状、新旧の呼び方が並存しています。

コラム

蝶? 蛾? 蝶と蛾の違いはどこに有るのでしょうか?

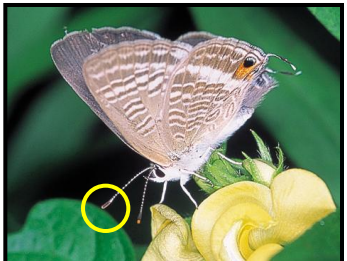
次の様に、様々な相違点が挙げられますが、それぞれに例外も多く、極論すると、全てチョウ目で区別は出来ないとも言えます。現に、国によっては、区別していない所(フランスやドイツ等)や、セセリチョウ科だけを別に扱う所も有ります。その上で、国内の場合にあえてを区別すると、

1. 形態的な(見た目の)違い

- ①**体色・羽の色彩**・・・昼行性で視覚の発達した蝶と、夜行性でフェロモンに頼ってパートナーを見つける為(オスのみ)触角は特化した為体色は地味な保護色の蛾。共に例外が有ります。
- ②**止まり方**・・・蝶は羽を立てて止まりますが、蛾は広げて止まります。但し、蝶でも体温を上げようとする時や、タテハチョウの仲間の多くは、羽を広げて止まります。



蝶
蛾



- ③**触角の形**・・・蝶の触角は先端部がマッチ棒の様に膨らんでおり(セセリチョウを除く)、蛾の触角は先端に行くに従って細くなり、細い毛で覆われていたり、櫛歯状になっている(オスのみ)ものも多く、繊細に出来ています。日本の場合、これが一番顕著な差です。
- ④**翅棘(しきよく)の有無**・・・蝶も蛾も、前翅と後翅を一枚の羽の様に動かして飛びます。蝶では、後翅が前に張り出して前翅と連動するようになっています。蛾では、一部を除き、翅棘(後翅から引っ掛ける棘が出ており、前翅に繋がっている)が付いています。
- ⑤**その他**・・・蛾は、胴体の太いものが多いです。気温の下がる夜に活動する為、鱗粉よりもたくさんの毛に覆われているものが多いようです。鱗粉のはがれやすい種類も、蛾に多いようです。

2. 生態的な違い

- ①**活動時間**・・・一般的に、成虫の蝶は昼間に飛び、蛾は夜に飛びます。作物に被害を与える幼虫も、蛾は、ヨトウムシ類のように、夜間活動するものが多いです。勿論例外も多く、特に昼行性の蛾は多くいます。
- ②**繭を作るか**・・・蝶は繭(まゆ)をつくりませんが、蛾は繭をつくります。但し、蝶でもウスバアゲハの仲間は簡単な繭をつくります。

弊社のチョウ目害虫対策剤には、脱皮阻害剤の**アタブロン乳剤・SC**、神経伝達阻害剤の**アクセルフロアブル**、合成ピレスロイド剤の**テルスターフロアブル・水和剤**、BT剤の**トアロー水和剤CT・フロアブルCT**等が有ります。効率的な防除には、特に生態的な点に注意する必要がある有ります。例えば、ヨトウムシ類等、夜間に活動、食害するチョウ目害虫は、日中は、食害は確認できますが、害虫そのものは土中に隠れていて見えない為、防除が遅れやすくなります。**摂食毒性が高く、残効の比較的長い、アタブロン乳剤やアクセルフロアブルをお勧めします。**チョウ目の防除は、薬剤毎の特性を活かし、弊社殺虫剤をローテーション防除の1剤として位置付けて頂きますよう、お願い申し上げます。



ISK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号
TEL 03-5844-6320 FAX03-3812-6548
ホームページ アドレス <http://www.iskweb.co.jp/ibj/>